

横須賀市（鴨居地域）
生涯活躍のコミュニティづくり
実施計画

令和4年2月

横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

1. 本計画の趣旨

本市の現状

2021年10月1日現在	
総人口	394,226人
高齢化率	32.05%
ひとり暮らし 高齢者の数	10,251人

- ・若い世代の人口流出や急速な少子高齢化により**高齢化率が上昇**
- ・ひとり暮らし高齢者も**増加傾向**
- ・町内会・自治会の**加入率は全市的に低下傾向**
- ・グループやサークル活動等へ**参加していない割合は70%**
- ・高齢者の社会参加では、女性が多く、**男性の参加者が少ない印象**

地域におけるつながりの希薄化と住民の社会的孤立による
健康リスクが懸念

本計画の目的

「世代を問わず誰もが役割と居場所があるコミュニティづくり」の実現に向けては、地域活動への参加の現状と課題を把握するとともに、必要な支援を検討することが重要と捉え、市内「鴨居地域」をモデル地区とし、実証を進め、本市が掲げる「すべての“ひと”が自分らしく輝けるまち」に向け、将来的に市全域で展開していくことを目指します。



横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

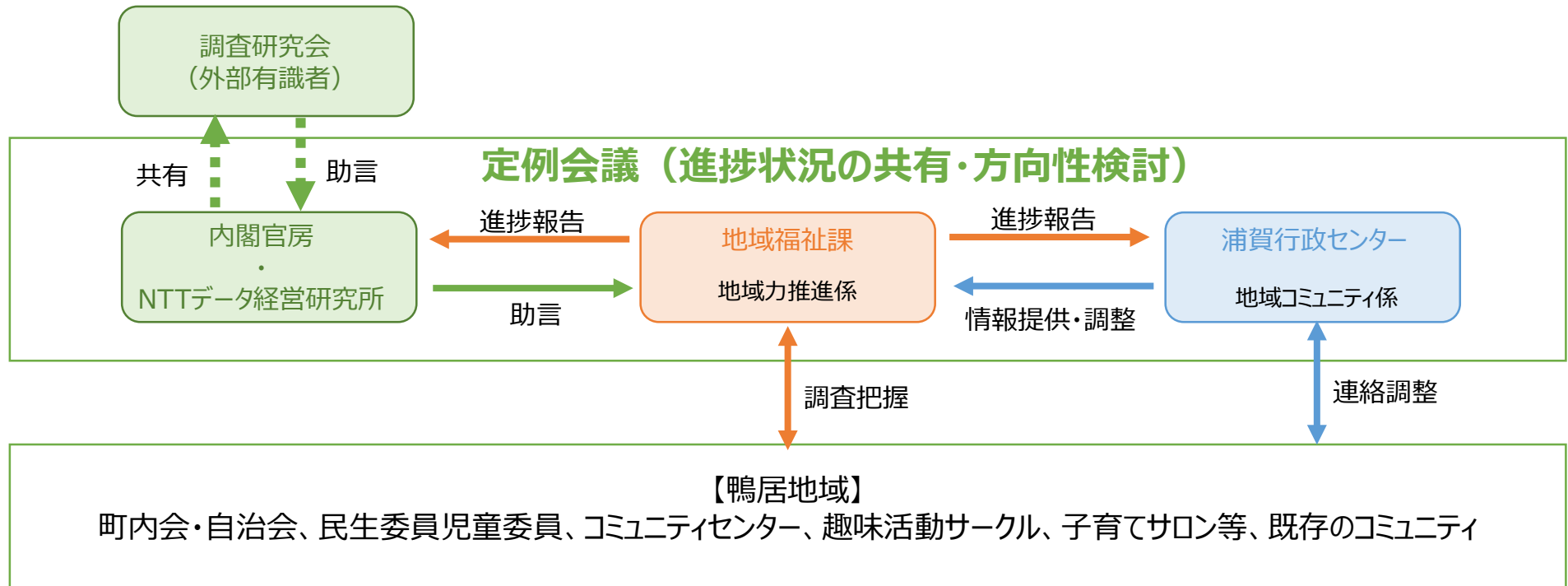
2. 検討課題

横須賀市鴨居地域（人口18,736人、高齢化率39.7%）を対象に以下①・②を検討

- ①社会的に孤立しやすい対象者像とニーズ把握
- ②コミュニティ機能の現状と課題、取り組む方策の検討

3. 検討体制

- 計画の検討にあたり、民生局福祉部地域福祉課と市民部浦賀行政センターの協働で調査検討を実施
- 学識経験者からの助言を内閣官房およびNTTデータ経営研究所を通じて受ける定例会議を開催



横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

4. 調査実施の目的

定性調査と定量調査の組み合わせで課題を把握

Step	調査により明らかにしたいこと	調査対象（人数）	手法
現状把握 地域の	地域の特徴、町内会・自治会の取組状況と住民の参加状況	町内会・自治会長 (9)	半構造化面接
	ひとり暮らし高齢者および夫婦のみ世帯、子育て世帯の状況	民生委員児童委員 (6)	※対象者の特性別に ヒアリング項目を作成
	コミュニティセンター※1の役割と利用状況	コミュニティセンター職員 (4)	※所要時間 1～2時間/1人
ニーズ調査 (対象者別)	コミュニティセンターの利用やサークル参加に至ったきっかけからみる高齢男性のニーズ	コミュニティセンター利用者 (12) ・トレーニングルーム利用者 ・男性の料理教室 ・囲碁サークル	※コミセンを利用する男性は 1～2時間/グループ
	育児を行う子育て世代のニーズ	未就学児対象の親子サロン (1)	
	参加を促すアプローチ方法と参加意向に関する世代別ニーズ	地域情報交流アプリ利用者 (120)	無記名によるアンケート ※SNS「PIAZZA」内で実施
	自立支援が効果的な対象者と相談支援のニーズ	地域包括支援センター (3)	グループインタビュー法
取組の実施に向けた調査	コミュニティづくりにおける高齢者の活躍の可能性の有無	スマホ教室参加者 (26名)	一部記名によるアンケート ※講座参加者へ配布 ※講師が可能な人は記名

※1 コミュニティセンター（略称：コミセン）

住民や各種団体が身近に手軽に利用できる地域コミュニティづくりの場

多目的に利用できる部屋の貸出や各種講座・イベントを通じてコミュニティづくりを支援

横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

5. 調査結果

Step①【地域の特徴と活動参加の現状把握】

地域の現状把握

調査方法		ヒアリング		
調査対象		町内会・自治会会長（9名）	民生委員 児童委員（6名）	コミュニティセンター職員（4名）
区分		町内会活動	地域活動	コミセン講座・サークル・個人利用者
高齢男性	参加率	町内会活動やサークル活動等、 女性より男性の方が少ない。	ひとり暮らしよりも 夫婦二人暮らしの男性の方が地域活動に参加しない印象。	・高齢者が多いサークル：体操系、音楽系 ・女性と比較して男性の参加が少ない。
	傾向	・居場所や役割、目的がある集まりを好む。 ・役割や居場所を自ら見つけられる人は少ない。 ・きっかけが必要。妻の後押しも一つの方法。 ・ひとり暮らしよりも 夫婦二人暮らしの高齢男性の方が参加が低く、認知症になりやすい印象。		・経験があるものや興味関心のある講座やサークルは参加しやすい。 ・参加者のレベルが同程度な程、参加しやすくサークル化しやすい。（はじめての〇〇講座等） ・既存サークルの場合、誘ってくれる人がいると参加がしやすい。 ・健康維持への興味関心は高い。
若い世代	幼児・児童・学生	・子ども会が閉会傾向 ・役員等の負担が懸念 ・対応策で町内会で育成部を設置している場合有	習い事等がない 児童は放課後1人になりやすい。 居場所があるとよい。	・夏休み子ども講座は多世代交流の場になる。 ・若い世代は平日の夕方以降や休日に利用する傾向 ・若者が多いサークルはダンス
	子育て世代		専業主婦や育休中の引きこもりや孤立は傍からみても分かりづらい	・育児ママのオンライン交流会があるが、 オンラインではリアルなつながりが作りづらい印象。
その他		多世代が参加する場では、 高齢者が活躍できるフィールドを意図的につくる必要がある。	高齢者に ポッチャが人気	・卓球、バレーボールは幅広い世代が参加 ・地域のイベントや大会に向けた練習が多い
		お茶やお弁当等、メリットがないと参加が低い	デジタルの発達で 幼児・児童の興味関心も多様化している印象。	・コミセンの 周知は紙媒体が中心 ・周知内容は講座が主で利用方法の周知はない ・サークル化にあたっては連絡網や予算書の作り方を支援 ・浦賀全体のサークル数は20年で1/2減少

- コミュニティセンターで講座をきっかけとしたサークル化を支援。しかし、サークル連合体への加入は1/2減少（20年前と比較）
- コミュニティセンターの講座周知は回覧と市報等、紙媒体の周知が主で、コミュニティセンター自体の周知はしていない
- サークルを探したいという相談に、サークルの登録情報を紹介することもあるが、誘ってくれる人がいる方が参加につながる

横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

Step②【対象者別ニーズ調査】

高齢男性のニーズ（参加に至ったきっかけより）

<調査①> コミュニティセンターのトレーニングルーム利用者（3名）

- ▶ 高齢になりケガの予防やリハビリのために利用を始めた人が多い。（ヒアリング時、最高齢83歳）
- ▶ 利用者の大半は定期利用者で顔なじみの関係ができ、**会話や互いの頑張りがモチベーション**
- ▶ 施設の有料化やコロナの影響で利用者が減少。
- ▶ 有料化は、施設維持のために必要だと思うが、その分コミセンの**周知をしてはどうか。**
- ▶ ケガをするまで、このような施設があることを知らなかった。**知らない人に教えてあげたい。**
- ▶ 友人と来た時、別の部屋で卓球をしているグループがあり、**卓球グループを立ち上げるに至った**こともある。



<調査②> コミュニティセンターのサークル参加者（男の料理教室3名、囲碁サークル6名）

- ▶ 初心者向けの**講座がサークル化のきっかけ**。最終回にコミセン職員からサークル化の提案があり発足。
- ▶ 「初心者向け」の記載が良かった。**同じレベル感だと分かる**ことが**参加の安心**につながっていたと思う。
- ▶ 定年後、時間が有り余っていた。興味関心から講座に参加し、地域に仲間ができた。
- ▶ メインの活動だけでなく、**仲間との交流が楽しみ**で参加を続けている。
- ▶ 講座は、市の広報紙や浦賀コミセンが発行している情報誌でみつけた。
- ▶ 最近の**広報紙は、講座の詳細がのっていないので不便**では。
- ▶ 後からサークルに参加したが、きっかけは、友人からの誘いやコミセン職員からの紹介。
- ▶ 既存のサークルに**後から一人で参加するのは、ハードル**を感じる。
- ▶ **誘いや紹介がなければ参加できなかった。**



横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

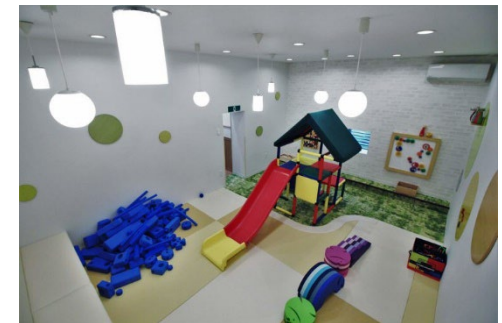
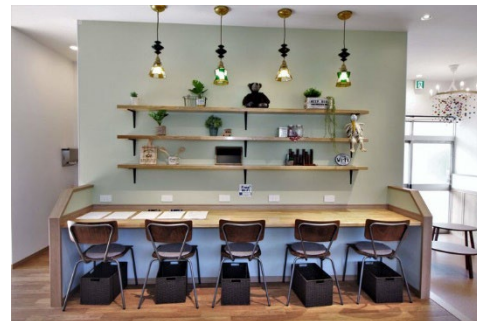
Step②【対象者別ニーズ調査】

ニーズ調査（対象者別）

育児を行う子育て世代のニーズ（親子サロン経営者より）

<調査③> 育児経験があり、保育士資格をもつ女性がスタッフとして活躍する未就学児を対象とした親子サロン

- ▶ ボーネルンドプロデュースの室内遊具が設置されたプレイルームとカフェスペースが併設されたサロン。
- ▶ 親子向けのワークショップやイベントも多数。
- ▶ 乳幼児がプレイルーム利用の際は、スタッフが遊びをサポート。
- ▶ 保護者は**自分の時間を確保**したり、スタッフに**話を聞いてもらう時間**をつくるのが可能。
- ▶ 孤独やマイナス思考になりやすい育児中においては、**気軽に立ち寄り**、**思いを受け止めてくれる場**が必要。
- ▶ 鴨居地域外（市外含む）に住まう方からも利用され、スタッフによる一時預かりも可能な**リフレッシュの場**
- ▶ 子育て世代にとって、「行政に頼るのはよっぽどのこと」という印象があると思う。
- ▶ **行政に頼るほどではないが**、「**ちょっと誰かの手を頼りたい**」「**ちょっと誰かに話を聞いて欲しい**」というニーズがあると思う。
- ▶ 指摘や助言ではなく、気持ちに寄り添う場所でありたいと思っている。
- ▶ 開設時は、クラウドファンディングを活用。鴨居地域の住民からの寄付も多く、地域の理解を得られている。
- ▶ 夏の天体観測のイベントでは、天体に詳しい地域のシニア住民が講師になるなど、地域交流もある。



横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

Step②【対象者別ニーズ調査】

参加を促すアプローチ方法と参加意向に関する世代別ニーズ

<調査④> 地域情報交流アプリPIAZZAの利用者120人
(60代：6人、50代：23人、40代：33人、30代：52人、20代：6人)

調査結果	調査方法		地域交流SNS「PIAZZA」によるアンケート				
	調査対象 (N=120)		60代 (6人)	50代 (23人)	40代 (33人)	30代 (52人)	20代 (6人)
	回答者の割合		5%	19%	28%	43%	5%
趣味・好きなことを教えてください	読書・映画・漫画	50%	56.5%	60.6%	30.8%	16.7%	
	グルメ・カフェ・スイーツ	33.3%	21.7%	54.5%	65.4%	66.7%	
	旅行・街歩き	66.7%	17.4%	54.5%	48.1%	50%	
	音楽・芸術・写真	66.7%	43.5%	42.4%	36.5%	50%	

ニーズ調査（対象者別）

- ▶ 「趣味・好きなこと」は世代によって興味関心が異なる可能性が示唆された。
- ▶ 地域で趣味や好きなことに関する集まりがあった場合、**30代、50代、60代で参加への意向**がみられた。
- ▶ 40代では「参加したくない」という回答が他の年代よりも高い傾向にあった。
- ▶ サークルへの参加は、SNSが約7割、友人・知人からの誘いが6割、40代以上で見学会・体験会の有無がきっかけになると回答

あなたの情報が誰かの役に立ちます！
この街を楽しみたい人は今すぐ登録！

登録は簡単3ステップ！

- Step 1 メールアドレスかFacebookアカウントで登録
- Step 2 「横須賀市エリア」を選択！
- Step 3 ニックネームや出身地などを入力

グループに参加しよう！
「おすすめランチ」や「ママ交流会」、「飲み歩き好き」など、興味のあるグループに参加して、よりダイバーシタな情報交換をしましょう！

地域SNS「ピアZZA」
～横須賀市エリアの情報交換～

PIAZZA 株式会社 | 東京都中央区日本橋本町1-10-8 | 03-5531-5151 | info@piazza-life.com

「ピアZZA」は個人情報・行動履歴や地域情報などを安心安全に交換しあえるSNSアプリです。
「ピアZZA」と横須賀市・公益社団法人横須賀教育青年会提携して地域の情報を発信しています。

横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

Step②【対象者別ニーズ調査】

ニーズ調査（対象者別）

自立支援が効果的な対象者と相談支援のニーズ

<調査⑤> 浦賀地域包括支援センター職員（3名）

- ▶ 外出や機能改善への意欲が高いのは事業対象者および要支援1の方々
- ▶ リハビリや運動を求む場合や、友人と同様にデイサービスで気分転換や気晴らしをしたいという相談がある。
- ▶ お元気な方へはデイサービスではなく、地域の楽しいサークル活動等、**社会資源を紹介したいが社会資源の把握が困難。**
- ▶ 地区社協の活動、町内会活動、高齢者サロン、老人クラブ、コミュニティセンターのサークル等、活動は様々なので、全把握は難しいことだと思うが、何か**一覧化**されていたり、大学のサークル勧誘のように**年に数回参加者を募集する取組**があれば、紹介することができると感じている。
- ▶ 介護予防サポーター、フレイルサポーター等、**地域で活躍したいという方の活躍の場**があるとよいと思う。



Step②【取り組みの実施に向けた調査（試行）】

取組の実施に向けた調査

高齢者の活躍可能性の有無

<対象> スマホ教室に参加した高齢者（26名）

- ▶ 現在、地域活動に参加していない人の**40%が「趣味や好きなことに関する集まりに参加してもよい」**と回答
- ▶ 参加していない理由として半数が「興味の活動がないから」「きっかけがないから」を選択
- ▶ 「他の人に教えることができる特技や趣味を持っている」と4人が回答



横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

総括

- ☑ 高齢男性は参加の意欲がないわけではなく、きっかけがつかめない
- ☑ 子育て世代は気軽に立ち寄れる場・ほっとできる居場所を求めている
- ☑ サークルへの参加は、**SNSが7割、友人・知人からの誘いが6割**
40代以上の場合、**見学会・体験会の有無**がきっかけになると回答
- ☑ デイサービスに行きたいと相談にくる高齢者の中には、お元気な方も多く
運動やリハビリ、気分転換や気晴らしになる地域活動を紹介できるとよい
- ☑ **活躍したい高齢者が役割や居場所を見つけられる仕組み**があるとよい
- ☑ **コミュニティセンターの機能や何ができるかが知られていない**



居場所・役割を見つけない人がコミュニティに参加する道筋をサポート

コミュニティセンターを起点とした「つながりの場づくり」

6. 取組の方向性

居場所・役割を見つけない人がコミュニティに参加する道筋をサポート



高齢男性等、居場所や役割を見つけない人

情報に触れる

コミュニティセンターの役割（地域のつながりを支援する、等）を明確化し、さまざまな仕掛け・仕組で情報を届ける

【具体案】

- 町内会と連携した全戸回覧板
- 地域の商業施設など人が集まる場所との連携
- SNSなどインターネットを活用した発信
- 既存の活動サークル等を通じた口コミ

センターと関わりを持つ

低いハードルでコミュニティセンターと関わりを持つ多様な場を用意する

【具体案】

- 各種イベント・大会（ボッチャ大会／鴨居老連演芸大会／観音崎フェスタ／桜まつり）
- 相談会
- 健康チェック
- 民間企業のイベントとの連携

サークルや講座を探す

① 既存活動の情報整理を実施し、それぞれの興味関心に合わせた既存のサークル活動があれば案内する。

② イベント等でのアンケート・ヒアリングにより、地域住民の関心の高いテーマを把握し、新たな講座開催に繋げる。

コミュニティに参加する

① 既存のサークル活動に入りやすいように活動者とサークル活動を繋ぐ。

② 講座からサークル活動に繋がるように、グループ化に向けたサポートを実施する。

コミュニティセンターを起点にした地域と協力した仕掛けづくり

「生涯活躍のまち」が目指す機能との関連性

交流・居場所



コミュニティセンターが地域の人にとって気軽に寄れる場所になる

活躍・しごと



サークル活動に参加することで、役割が生まれる
講座の講師として活躍したり、イベントに参画することで、知見やスキルを活かす

健康を維持する



コミュニティに参加することが社会参加や介護予防につながり健康維持につながる

横須賀市（鴨居地域）生涯活躍のコミュニティづくり実施計画

7. スケジュール

令和4年4月

6月

8月

10月～

地域への報告と意見収集

情報収集・把握

イベント兼相談会の準備

イベント兼相談会の開催

コミュニティ化の支援

- ①課題の共有
- ②地域活動把握への意見伺い
- ③協力可能な内容確認

<対象>
町内会・自治会
民生委員児童委員
地区社協
支え合い協議会
地域包括支援センター
生活支援コーディネーター

参加者／活動者を募集する コミュニティの把握

<対象>
コミセンサークル
市民活動グループ
各町内エリアの活動
地区社協力の活動
ボランティアセンターの活動
地域運営協議会の活動 等

活躍したい人 イベントに携わる人の把握

<対象>
まなびかんの講師情報
健康長寿課の健康チェック
介護予防サポーター
フレイルサポーター
商工会議所
青年会議所
NPO法人 等

- ①年間スケジュールの把握
- ②イベント主催者との調整
- ③冊子／チラシの準備
- ④地域への周知

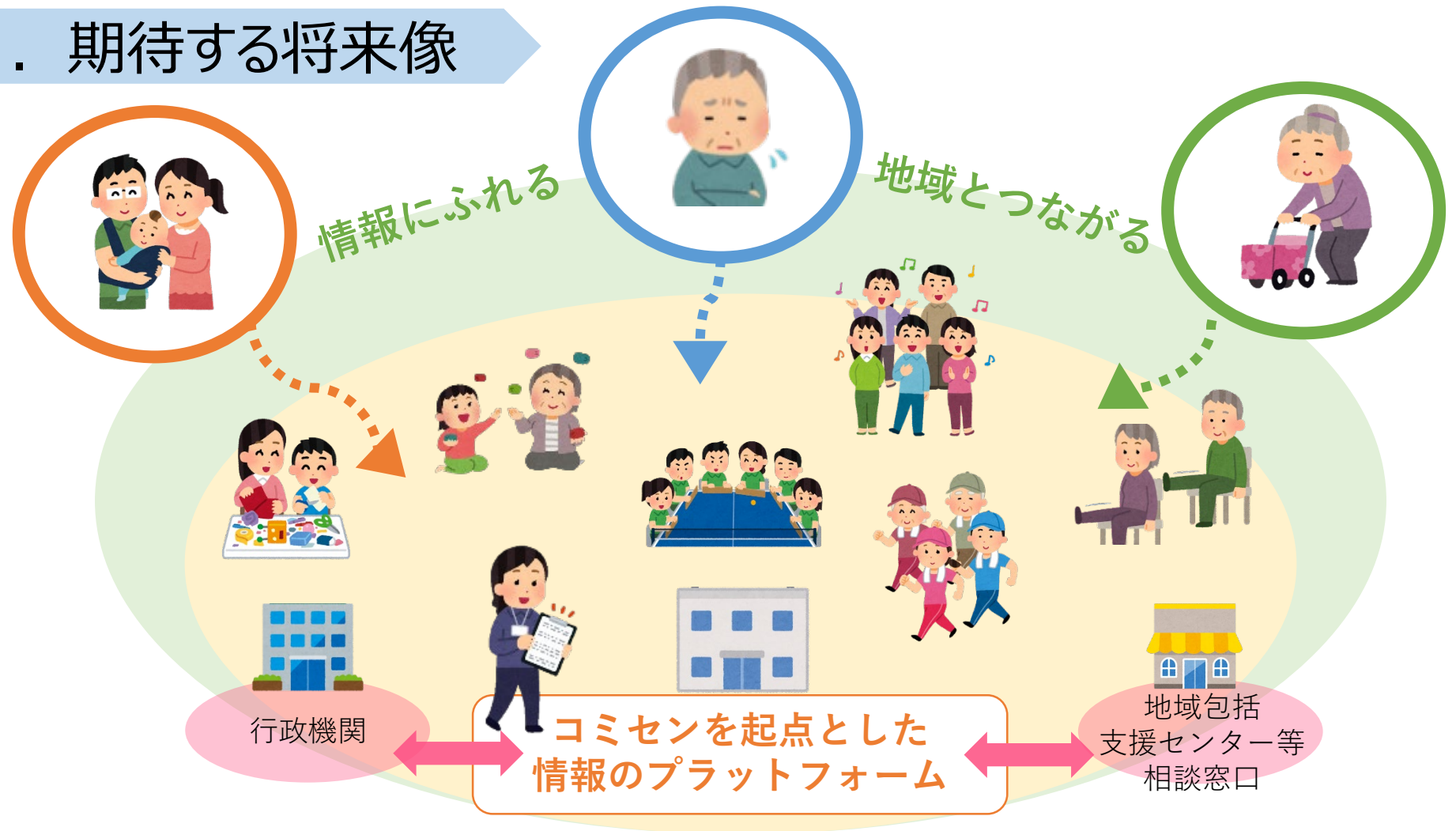
相談と活動紹介

サークル等
活動への参加

興味関心の把握

講座への参加で
新規サークル化

8. 期待する将来像



誰もがどこかにつながることで

「誰もひとりにさせない」「誰もが自分らしく輝ける」まちの実現

9. 今後に向けて

今回の取組を契機として、まずは鴨居地域においてコミュニティセンターを核とした全世代・全員活躍型の生涯活躍のコミュニティづくりを推進する。そのうえで、令和5年度以降、他地区を含む横須賀市全体での生涯活躍のまちづくりの検討を開始する。

